

救命救急センターに、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用を停止します。また、この研究については、さいたま赤十字病院倫理委員会の審議にもとづく病院長の許可を得ています。

[研究課題名] 院外心停止患者に対する治療戦略及びその予後に関する単施設後ろ向き観察研究

[研究機関の長] さいたま赤十字病院 病院長

[研究責任者名・所属] 加藤 駿一 循環器内科/高度救命救急センター

[研究の目的]

本邦では年間7万人を超える心臓突然死が発生しています。病院前救急医療の発展により、院外心停止例の社会復帰率は改善していますが、いまだに8%程度と非常に低い状況です。更なる社会復帰率向上のために、病院到着後の集中治療の効果が期待されていますが、その治療実態と効果は明らかでなく効果的な治療法は確立されていません。この研究では、過去に当院へ搬送された院外心停止の患者さんを対象としたデータベースを構築し、生存率、神経学的転帰を調査し、その治療戦略の適応や転帰改善に寄与する因子を検討することを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2014年6月1日から2019年5月31日の間に、当院救命救急センターに院外心停止で来院・入院された方

○利用する検体・診療情報

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)、病院前情報、来院時情報、治療時情報、補助循環、搬送等時間情報、体温管理、集中治療室入室後経過、転帰、など

[研究代表者]

さいたま赤十字病院 循環器内科/高度救命救急センター 加藤 駿一

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心1-5

さいたま赤十字病院 担当医師 加藤 駿一

電話 048-852-1111 FAX 048-852-1132